

母子保健に関する事業 1

事業項目	事業計画（交付申請時）	実施結果（見込み含む）
（事業名）こんにちは赤ちゃん訪問事業	（計画）：出生児 1330 人	（実績）：930 名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：生後 4 か月未満の乳児のいる全ての家庭を訪問し、育児等の不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。</p> <p>事業評価：次世代実施計画の平成 19 年度の目標値は 56%と設定されているが、実績としては 70.3%となっており、目標値をクリアしている。引き続き最終目標 100%を目指し継続実施していく。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問実施者である母子保健推進員と助産師の連携を必要時行い、子育てに関する情報を提供し課題の共有をはかっている ・子育てにかかわる関係課の連携強化が必要 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に実施者の資質向上を図るための研修会を設ける 		
（事業名）食育ふれあい体験教室	（計画）：開催 10 回/年	（実績）：10 回/年 66 名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：幼児を主に農作物の植え付けや・収穫体験、栄養バランス学習や調理実習、歯磨き指導をとおして生活リズムの確立を目指している。</p> <p>事業評価：アンケート結果より、受講後より自主的に家庭での手伝いや、栄養バランスを意識し食事をとる等の変化も見られ、生活リズムの確保に役立っている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室運営に関して、母子担当、栄養士、保健師、児童館スタッフ、母子保健推進員、企業団体（農場体験）など関係機関や団体・職種が多く、各団体の特性を生かし講師としての役割を担ってもらうことで幅広いメニューの展開ができた。終了時には関係者で反省会を設け、事業内容・運営方法を振り返り、事業展開に生かしている。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の結果各時期に適した食生活習慣の改善が課題であると分析し、平成 20 年度からは、今まで実施していた食育ふれあい体験教室を乳児後期、1 歳半～2 歳、3 歳児の各年齢に分け食育事業を実施する。 		
（事業名）ベビースクール（離乳食実習）	（計画）：開催 22 回/年	（実績）：22 回/年 145 名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：食育の中でも乳児期の離乳食は基本であり、ベビースクールの中で離乳食実習として展開している。</p> <p>事業評価：計画どおり実施しており、参加者からは好評の声が聞かれている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施後は教室に関わるスタッフで反省会を実施し、教室の改善に努めている。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食開始前の保護者を対象に実施。 ・月齢に応じた内容の見直しを行った。 		
（事業名）食育健康かるた	（計画）：開催 1 回/年	（実績）：1 回/年
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：健康うま 21 の推進にあたり、市内の小中学生に標語を募集し、その中から食育健康かるたを作成し、各関係機関及び、かるた入選者に配布し、食育を推進する</p> <p>事業評価：健康うま 21 を推進する上で P R となった。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標語募集にあたり、教育委員会、学校現場、自治会と連携を図った。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習フェスティバルにて市民への啓発を継続していく。 		

母子保健に関する事業 2

事業項目	事業計画（交付申請時）	実施結果（見込み含む）
（事業名）マタニティスクール（栄養実習）	（計画）：13回	（実績）：13回 62名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：妊婦に対して貧血予防や妊娠高血圧症候群予防の食事について情報提供し、調理実習を行う。</p> <p>事業評価：計画どおり事業を実施する。参加者からは好評を得ている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅助産師、栄養士の協力を得て運営し、課題を共有をしている。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同様継続実施 		
（事業名）ベビースクール（事故予防）	（計画）：開催11回/年	（実績）：11回/年 95名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：乳幼児期の事故予防について普及啓発し、子育て中の保護者や家族に対し、消防士による救急法の実習を取り入れる。</p> <p>事業評価：計画どおり実習する。救急蘇生法の実施に関して好評を得ている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全協会、消防の協力を得て運営している。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法や誤飲時対応の実技に重点を置いた内容は、受講者から好評であり、今年度も継続実施。 		
（事業名）ベビースクール（育児支援）	（計画）：開催12回/年	（実績）：12回/年 101名
<p>事業内容：子供の発達段階に応じた育児の仕方を理解し、健康管理について学ぶ。</p> <p>事業評価：参加者同士情報交換を行うことで、育児不安の軽減が図れている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいについて、運動指導士や助産師との連携をはかった 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を検討し、スタッフ配置を検討した。 		
（事業名）事故予防講演会	（計画）：開催1回/年	（実績）：1回/年 32名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：県立中部病院の医師による『乳幼児の事故予防』の講演と沖縄県交通安全協会によるチャイルドシート設置の実技を実施する。</p> <p>事業評価：講演内容は、救急センターに搬送される事例をとおして、分かりやすく説明しインパクトがあった。チャイルドシート装着の実技はお父さんたちの参加もあり、好評を得ている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急を担う医師や実際の交通安全指導にあたっているスタッフと具体的に事故予防についての課題を共有し、子育て中の父母や子育て支援に携わっている方々に対して、タイムリーな情報提供ができた。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな話題を取り入れながら、継続実施予定。 		

母子保健に関する事業 3

事業項目	事業計画（交付申請時）	実施結果（見込み含む）
（事業名）思春期健全母性育成教室	（計画）：10回	（実績）：10回 365名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：思春期の男女に性（生）について正しい知識を伝え、自分らしい生き方や性についての自己決定能力を身につけるよう支援する。</p> <p>事業評価：希望校にのみ実施をした。実施した学校からは取り組みが強化され、事業への協力が得られている。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期情報交換会を持ち、事業紹介・報告を行い、思春期保健の課題を共有した。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実施校の拡大を目指し、課として今年度取り組みたい学校を提示し、校長会での説明会を実施する。 ・内容に関しては、事前アンケートを実施し必要な内容を盛り込んでいる。 		
（事業名）思春期情報交換会	（計画）：開催3回/年	（実績）：3回/年 89名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：学校保健と地域保健との連携を深め、思春期の様々な問題点へ対応する</p> <p>事業評価：小学校1年から中学校3年までのうるま市の『生きる力を育むプログラム』を作成した。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、医療機関、保健所と課題の共有と連携がスムーズに行われた。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『生きる力を育むプログラム』をどのように展開していくのか検討。 		
（事業名）乳幼児クリニック	（計画）：開催4回/年	（実績）：4回/年 53名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：発育発達の経過観察が必要児に対して、集団アプローチを主とした教室を実施</p> <p>事業評価：発育発達の支援が必要な児に対して、事業をとおして経過観察ができた。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニック運営にあたり、発達センター等医療機関との連携を図る。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診における問診内容の検討を実施。 ・早期療育に視点をおいた支援を展開するために、クリニック事業を中止し、集団アプローチを主とした教室を実施する。 		

母子保健に関する事業 4

事業項目	事業計画（交付申請時）	実施結果（見込み含む）
（事業名）心理相談・巡回相談・言語相談	（計画）：心理 36 回、巡回 12 回、言語 6 回	（実績）：心理 36 回、巡回 12 回、言語 6 回 81 名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：心理士を乳幼児健診会場などに配置することで、育児不安を抱えた保護者の問題解決のための支援をする。</p> <p>事業評価：心理相談では相談対象者が多く、タイムリーな支援が難しかった。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で心理士、言語聴覚士との課題の共有を図る。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語相談では相談よりも、訓練を希望している親が多く、医療機関での支援が適切であるため、言語相談は中止する。 ・心理相談数の増加により、巡回相談は中止し心理相談の回数を増加する。 		
（事業名）来所相談	（計画）：開催 165 回/年	（実績）：165 回/年 585 名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：身近に気軽に即対応できる相談の場であり、さらに、各種乳幼児健診において、要経過観察児の健診後のフォローを行う場でもある。</p> <p>事業評価：フォロー児を計画的に支援できている。身近な相談の場として定着している。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間にて課題の共有を図る。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談は保健師、助産師、栄養士にて対応 食習慣に関する栄養相談のニーズが高く、今年度より栄養士を配置している。 		
（事業名）妊産婦訪問指導	（計画）：開催回/年	（実績）：回/年 412 名
<p>（事業量および事業内容に対する評価結果）</p> <p>事業内容：妊娠中の異常の発見と疾病予防に努め、妊娠、出産、育児等の個別指導を実施。さらに、妊婦の身体的、精神的に不安定な状態に対し適切な指導を実施。</p> <p>事業評価：マタニティカードにて窓口面接後、支援が必要な方には地区保健師が関わっており、スムーズな支援ができている。</p> <p>効果的に訪問を行うため、訪問基準区分を明確化した。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に 1 回助産師との会議をもち、妊産婦の情報交換を行い課題を共有した。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問基準に準じた支援を継続実施 		
（事業名）母子栄養食品支給事業	（計画）：開催 回/年	（実績）：回/年 11 名
<p>事業内容：栄養状態、発育状態の悪い妊産婦や乳幼児に対して、牛乳やミルク等の母子栄養食品を支給</p> <p>事業評価：母子栄養食品を支給することで、対象者、児の栄養状態が改善した。</p>		
<p>（子育て支援に関わる関係者間での課題の共有と連携・協力状況、行政と子育て関係者との協働についての評価結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師や母子保健推進員の訪問の中で事業の周知をはかった。 		
<p>（今年度の事業計画に反映された改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様、今年度も事業の継続を実施 		